

緑のセンターだより



No.162

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel: 0166-65-5553 Fax: 0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 28 年 10 月 1 日



講習会のご案内

（お申込み・受付は前月の 20 日から）



「庭木の冬囲い」（実習）

とき 平成 28 年 10 月 16 日（日）
午後 1：30～3：30 定員 20 名
講師 公園緑地協会職員



「雪吊りの基礎」（実習）

とき 平成 28 年 10 月 23 日（日）
午後 1：30～3：30 定員 20 名
講師 公園緑地協会職員



「庭木の冬囲い」-常磐公園管理棟（実習）

とき 平成 28 年 10 月 23 日（日）
午後 1：30～3：30 定員 20 名
講師 公園緑地協会職員



「ブドウと小果樹のせん定と栽培管理」

とき 平成 28 年 11 月 4 日（金）
午後 1：30～3：30 定員 50 名
講師 上川農業改良普及員センター
普及指導員 岸本結香さん

「押し花カレンダーを作ろう」教材費 ¥700

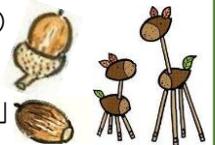
とき 平成 28 年 11 月 13 日（日）（実習）
午後 1：30～3：30 定員 20 名
講師 押し花サークルつくしんぼ代表 加藤迪子さん



「X'mas からお正月の寄せ植え」
12 月 4 日（日）13:30～15:30
フラワーマスター 山本 裕美さん
定員 20 名 教材費 ¥2500



連続講座「葉っぱと木の実を使ったオブジェづくり」11月20、27、12月11日（日）
日 時：13：30 時～15：30 定員 10 名 教材費 1000 円全 3 回参加可能な方
第 1 回目「壁飾りを作ろう」第 2 回目「置物を作ろう」第 3 回目「ミニリースを作ろう」



★ 無料「ペットボトルの寄せ植え」イオンモール旭川西 10 月 3 日（月）① 9 時～ ② 13 時～ 各 25 名！

展示会のご案内

（初日は午後から、最終日は 4 時まで）

「木の実・草の実写真展」10 月 8 日～23 日
「旭川市公園絵画展」11 月 1 日～ 6 日
「秋の神楽岡公園写真展」11 月 12 日～27 日

秋の写真教室（連続 3 回）
10 月 8、15、29 日（土）
10:00～12:00
写協支部長 馬場和美さん
基本・撮影・トリミングなど…
初心者の方の参加、大歓迎！

桜のトンネルプロジェクト
桜の植樹会

10 月 22 日（土）10 時～12 時
募集数：団体 3 組、個人 20 名
参加料：無料（作業できる服装）
募集期間：10 月 1～10 月 21 日

【休館日のご案内】

4 月～10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です。（祝日の場合は翌日）
11 月～ 3 月は毎週月曜日が休館日です。（ " " ）



〈園芸の基礎知識〉 植物の根の構造と働き ～ 根の働き ～

今回は「根の断面と構造」について説明しました。今回は「根の働き」について簡単に説明します。

■根の呼吸

植物は葉と同様に根からも呼吸しています。根が水に浸かってしまうと酸素を十分に取り入れられなくなり、多くの植物では「根腐れ」という症状を起こします。例外的な植物としては、マングローブや湿性植物などでは「気根」や「呼吸根」と呼ばれる器官が発達し、直接大気中の酸素で呼吸する植物もあります。

■根からの吸水と養分吸収

多くの植物が根から水分を吸収します。吸収した水分は根から茎や葉など全体の細胞に押し上げます。この押し上げる力を「根圧」と言います。また、植物は葉で光エネルギーにより水と大気中の二酸化炭素を使って光合成を行い「でん粉」などを合成しますが、植物の生育には、このほかにタンパク質などを構成するチッ素やリン、カルシウム、硫黄、マグネシウム、鉄などを必要とします。これらの養分は無機イオンとして土壌中の水分に溶けて根から吸収されます。特別な例として着生ランなどの気根で大気中の水分を吸収する機能を持つ「吸水根」と呼ばれるものもあります。

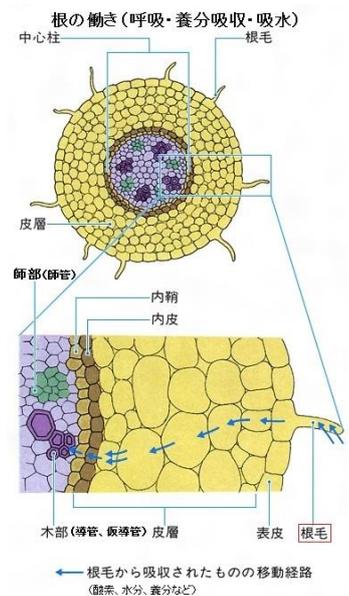
■根の支持機能

根は、地上に出来る茎や枝など植物の体を支える機能があります。特別な例としてマングローブやガジュマルなどにみられる地上茎から伸びる気根は「支柱根」と呼ばれ植物の体をしっかり支えます。身近でも規模は小さいですが、トウモロコシでも「支柱根」ができます。

■物質の蓄積

このほか、貯蔵機能などを持った根もあります。例えばサツマイモやダリアなど根が肥大した「塊根」と呼ばれるもの。また、ダイコンやニンジンなどの「多肉根」と呼ばれるものもあります。

(参考資料: 小学館「植物の生態図鑑」、八坂書房「図解植物用語事典」、HP「日本大百科全書の解説」ほか)



緑の相談 Q&A (36)

アンズリウムの花の中心にある5 cm位のひも状の穂に、ツブツブの玉ができてきました。これは病気でしょうか？ なんとなく花の色も薄くなったように感じます。



これは病気ではありません。色が薄くなったのは時間が経って色褪せしたからです。アンズリウムは、サトイモ科の熱帯植物で、赤やピンクなどの花びらに見える部分は「仏炎包」と呼ばれ、本当の花は中心の5 cm位のひも状の「肉穂花序」と呼ばれる部分で、小さな黄色い花が集まって咲き、それが受粉しますとタネができ膨らんでいきます。多分ツブツブの玉は「実」だと思います。自家受粉しづらいので数鉢育てていると受粉することがあるようです。実が橙色に熟したら切り取って、発芽抑制物質を含む果肉を取り除きタネを軽く水洗いをして、直ちに浅鉢に湿らせた粉状の水ゴケ(又はキッチンペーパー)を入れ、これにタネを播き、鉢の上からラップ材で包み水分の蒸散を押さえます。アンズリウムのタネは、時間が経つと発芽率が極端に落ちるようで採り播きがベストです。半日陰で温度があれば2～3週間で発芽してきます。来春5月頃にヤシ殻チップ3、パーライト3、ピートモス3、くん炭1の混合土か水ゴケ単用に定植します。

(参考資料: NHK 出版「新園芸相談⑨観葉植物」、「覚えたい観葉植物のテクニック」ほか)

※ホームページ (<http://www.asahikawa-park.or.jp>) に「花と緑の相談コーナー(Q&A)」を掲載しています。こちらをご利用ください。

植物の病害虫

その33 「ナストビハムシ」

1 寄生しやすい植物

バレイショ、ナス、トマト、ツルナ、イヌホウズキ



2 被害

成虫はジャガイモの萌芽期(5月下旬ころ)に生長点付近に集まり、若葉の表裏両面を食害し、直径1～2mmの小さい円形の食痕を残します。発生が多い場合には枯死する葉もあり初期生育が妨げられます。幼虫は地中ではじめストロンや根に潜入して不規則な食痕をつくります。ついで茎にも食入します。体全体を潜入させることは少なく、頭胸部だけを突っこんで食害します。このため、収穫期の塊茎には表面から5 mm程度の深さの間に穿入時期・方法によってくさび形、とげ形、あるいは糸状などにコルク化した様々な食痕が見られます。発生が多いときには、塊茎表面に多数のあばた状の傷ができ、食用および加工用として著しく品質が低下します。

3 生態

年1回発生します。成虫態で防風林などの枯葉の下や雑草の根際の地中浅いところで越冬します。5月下旬から活動をはじめ、ジャガイモでは6月中、下旬が発生最盛期になります。産卵は6月上旬から始まり、地表あるいは地中1cm内外の場所に1～数个塊状に産み付けます。卵期間は約1週間で孵化した幼虫は直ちに地中に入り、約3週間食害して老熟し、7月中旬頃から地中で蛹化します。8月上旬以降新成虫が現れ、葉を食害しますが、9月に入ると順次越冬場所へ移動します。成虫は日中好天のときに活発に跳躍活動を行い、物に驚くと素早く地上に落下して静止する偽死の習性があります。

4 防除法

この害虫の実被害は、栽培中には把握できませんが、防除自体はそれほど難しくはありません。成虫の被害を抑えることにより、幼虫の発生を軽減できます。

播溝施用:種いも植え付け時に、エチルチオメトン粒剤「商品名:ダイシストン粒剤」を10a当たり4kg散布します。茎葉散布:MPP乳剤「商品名:バイジット乳剤1000倍」、シペルメトリンWDG「商品名:ゲットアウトWDG2000～3000倍G」、アセタンプリドSL液剤「商品名:モスピランSL液剤4000倍」などを成虫の発生盛期に7～10日間隔で2回薬剤を散布します。

(参考資料:北海道病害虫防除提要)

ユリの植え替えは葉が枯れた晩秋

ユリ科 ユリ属 北半球の温帯地域原産 多年草

ユリは、基本的に秋に球根を植え付けると初夏～夏に花を咲かせます。野生種や園芸種の種類があり、花も上向き咲き、華やかな色彩・香り、花壇や庭植え、鉢植えや切り花のほか、種類によっては古くから滋養強壮、利尿などの薬用として珍重され、また薬膳料理の素材など、楽しみ方の多い植物です。



ユリの植え替えは、鉢植えの場合は毎年行いますが、地植えの場合には、株同士の間隔に余裕があれば3～5年に1

度、生育や花の付きが悪くなってきたころを目安にします。また、種類によっては、日当たりや好む土質がやや違うこともあるので配慮します。

＜ユリを植え替える時の注意点＞

- ① ユリは、花が終わったら葉や茎を残して花柄を摘みとって球根を育て、葉が枯れた11月頃に地上部を地際から切り落として球根を掘りあげます。通常の球根植物は、掘りあげた後の球根を乾燥させて貯蔵しますが、ユリの球根には乾燥を防ぐための表皮がないので、掘りあげたらすぐに新しい土へ植え替えます。
- ② ユリの球根は下から出る「下根」と上から出る「上根」という2種類の根を持っています。特に上根は水分と養分を吸って茎葉を育てる大切な役割があるので、植え付けが浅いと上根が十分に根を張れずに全体の生育が落ちるので深めに植え付けるのがコツです。また、乾燥が激しいところでは、根元にピートモスや敷ワラなどをすると乾燥防止になります。
- ③ 植え付け深さは、球根の高さの3倍の覆土を必要とし、球根と球根の間隔も3倍くらい必要です。鉢植えの場合は深さのある鉢に、赤玉土(中粒か小粒) 6:腐葉土4の割合で混ぜた用土で球根が鉢の高さの真ん中にくる深さに植えます。18cm鉢(6号鉢)に1球植えとします。露地植えの場合は事前に30cm以上深く耕して、腐葉土と一緒に肥料効果が長く持続する緩効性肥料を土に混ぜておきます。



展示室の植物 (69)

ソテツ (別名: 蘇鉄) 学名:Cycas revoluta ソテツ科 ソテツ属

ソテツは強健で潮風にも強いことから、九州や南西諸島の海岸沿いの岩場などに自生しており、現在生きている植物の中では、イチヨウと並んで最も原始的な植物のひとつとされています。



幹は太い円柱型でほとんど枝分かれせずに生長します。幹の表面には葉が落ちた跡が残り、頂部は羽状の葉を茂らせる独特の姿は南国を彷彿させます。

また、ソテツには雄株と雌株があり、緑のセンターのソテツの花は円柱状で高さ 70cm ほどの金色に輝く立派な花で、宝塚のヒロインのように、かなり目立ちます。